

猫は室内飼いをしましょう

『猫を外に出すな』これはアメリカの獣医さん達の合言葉です。病院にやって来る猫達の病気やケガの70%は室内飼いを行っていたら防げたものだとされています。

猫を室内で飼うのは”可哀相” だと思う方もいらっしゃるかもしれませんが。しかし、その”可哀相” が生む悲劇も現実に行き届いていることを受け止めて欲しいのです。外は危険でいっぱいです。心ない人間による猫狩りや虐待、猫同士のケンカによるケガ、伝染病、交通事故に迷子etc.猫ちゃん自身に起きる悲劇はもちろんのこと、外飼いによる近隣トラブルもあとをたちません。

実は猫は縄張りが狭い室内でも、何ら不自由なく順応でき、毎日楽しく過ごす事が可能なのです。

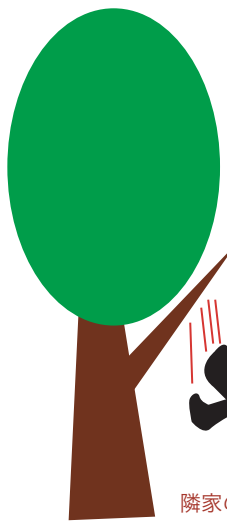
あなたがもし本当に猫ちゃんを”守りたい” と思うのなら室内飼いという最低限のルールを守って欲しい。心からそう願います。悲劇が起きてから後悔するよりも室内飼いをしましょう。



あなたが寝てる間に・・・

外飼いの恐怖！！

ご近所の方も迷惑しています！！



隣家の敷地内での迷惑行為・ケガ



ノミやダニによる被害



交通事故や猫狩り・迷子の危険



排泄物による悪臭や環境汚染



猫同士のケンカによる騒音・ケガ
伝染性の病気の感染のおそれ

第8条 猫の飼い主は、その飼養する猫について、疾病の感染及び不慮の事故を防止し、猫の健康及び安全を保持するため、屋内での飼養に努めなければならない。

北海道動物の愛護及び管理に関する条例（抜粋）